World Platinum Investment Council

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル

JBMA Japan Bullion Market Association

Pt & Pd

Market Weekly

2023年02月20日

市場価格

ドル建て　ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	949.29	2023/02/13
High	961.79	2023/02/14
Low	910.12	2023/02/17
Close	921.28	2023/02/17

円建て　円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4010.00	2023/02/13
High	4097.00	2023/02/15
Low	3934.00	2023/02/16
Close	3970.00	2023/02/17

ドル建て　ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1548.50	2023/02/13
High	1592.00	2023/02/14
Low	1438.00	2023/02/15
Close	1502.00	2023/02/17

円建て　円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6546.00	2023/02/13
High	6760.00	2023/02/14
Low	6198.00	2023/02/15
Close	6478.00	2023/02/17

ニュースエクスプレス

グリーン水素: Rystad Energy、技術革新でイリジウムの不足と高価格は2023年に落ち着く

2022 年がグリーン水素を一気に表舞台に押し出した年であったならば、2023年は脱炭素化、エネルギー転換とエネルギー保障の焦点となるとされるこの新しい産業セクターがこれから辿る長い道のりのスタートとなるだろう。ノルウエーのRystad Energy のリサーチによると、（水素を生産するための）水電解能力は2022年から2023年の間に 186% 増えるとしているが、このことにより水電解装置の生産サプライチェーンに注目が集まっている。

このセクターが成長するために必要な多くの原材料の価格は上昇傾向にあるが、Rystad Energy によると2020年～2027年の間に、グリーン水素の利用が増えてコストが抑えられ、水電解装置の価格は 10%から15%下がるとしている。Rystad Energyの最新の予測では米国のインフレ抑制法や欧州の多額の補助金などが支えとなり、グリーン水素は2030年までに、212ギガワットの水電解装置から 2400万トンが生産されるとしている。

国際再生可能エネルギー機関（IRENA）によると、今後、触媒として固体高分子膜にコーティングするイリジウムは 0.4 g/kW 、プラチナは 0.1 g/kWにそれぞれ抑えられるとしている。さらにオランダの研究機関、Netherlands Organization for Applied Scientific Research（TNO）の研究者らは固体高分子膜の効率性を上げながらもイリジウムの量を200分の 1 にできる水電改装装置の生産方法を既に開発している。

水素燃料セクターからの需要が増えているイリジウムとプラチナには、リサイクルもその需要の一端を担うことができる。Rystad Energy によると、今後の技術発展によって固体高分子型水電解装置に使われるプラチナとイリジウムの量を 70%から80%減らすことができれば、これらの貴金属の供給が電解装置の普及ペースに長期的には障害となることはなく、触媒コーティング膜関連の価格を下げる大きな背景となるとしている。

https://hydrogen-central.com/green-hydrogen-technology-breakthroughs-mean-iridium-shortage-and-high-prices-will-ease-in-2023-rystad-energy/

ノリリスクニッケル、マイナス収益を発表

ロシア最大の非鉄金属生産企業、ノリリスクニッケルは純利益がマイナス16%、59億ドルとなったと2月17日に発表した。

シベリアとコーラ半島に鉱山と工場を所有する同社は、欧州と米国・カナダによるロシアに対する経済制裁で問題に直面したとしている。

発表では「この問題に対し、我が社は代わりとなる顧客やサプライヤーを通じて新たな流通ルートと市場を開拓している。」としている。

ノルウェーのオンライン情報誌、Barents Observer は以前、ノリリスクニッケルは欧州ルートに代わって北アフリカに輸送ハブを開発することを考案していると報道。

ロシアの富豪、ウラジミール・ポターニン氏が一部を所有・経営する巨大企業、ノリリスクニッケルはニッケル、銅、パラジウムなど、グリーン経済に必要なメタルのマーケットとして、アジアに注目している。

ノリリスクニッケルは、電気自動車のバッテリーに欠かせないニッケルの世界最大の生産者で、ニッケル・リチウム電気の世界最大の生産国は中国。

ノリリスクニッケルでは昨年の秋に、コーラ半島モンチェゴルスクにある同社最大の電解装置用ニッケル極製造工場で火災があった。

同社は2022年度の会計報告の中で、「流通経路の中断によってメタル販売が減少し、新たな市場への販売に向けた様々な変更には時間がかかる。」としている。

https://thebarentsobserver.com/en/arctic-mining/2023/02/profit-drops-arctic-miner-nornickel

Translated by Osawa KAZUKO

WPIC直近の活動

- 2月13日から19日に初めて開催される英国の「Hydrogen Week」は、水素の利用を通じた 脱炭素化の目標達成を国全体で目指す新たな動きが高まっていることの象徴だ。 英政府は水素経済の発展に尽力することを改めて宣言し、2030年までに10ギガワット規模の炭素排出の少ない水素生産体制（少なくともその半分は水電解装置による）を確立することを目標に掲げた。詳しくは**プラチナ豆知識（英国の「HYDROGEN WEEK」）**をご覧ください。
https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum

(@wpicjapan)

免責事項：本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。